



全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット 広報

第74号

(2021年7月号)



サフィニア (ナス科ツクバネアサガオ属・ブラジル原産)



全日本私塾教育ネットワーク

理事長：仲野十和田 (ナカジュク) TEL: 03-3963-5572

センター事務局：長江 広紀 (英数学院) TEL: 044-788-7556

〒211-0044 神奈川県川崎市中原区 新城5-9-25 英数学院内

<https://shijuku.net>

理事長コラム

仲野十和田 (ナカジユク・東京都)



この原稿を書いているのが6月30日。今日、STEP（龍井代表）の高橋先生から声を掛けていただいた、コロナワクチンを接種してきました。症状はいたって穏やかです。今年は昨年中止にした自塾の合宿をすることに

決定したので、保護者へ安心感を与えるのにタイミング良く、全社員が受けさせていただきました。また、留学中の息子が昨春一時帰国して、その後留学先に戻れずにいたのですが、ワクチン接種を条件に戻れることになり、この機会にワクチンを接種しました。ご厚意に深く感謝申し上げます。

さて、コロナ禍の中、みなさんいろいろとご苦労されていると思いますが、一方新たな取り組みも出てきているのではないのでしょうか？そこで、自塾のことを少々お伝えさせていただきます。ナカジユクでは、授業の前に5分位、「N-TED(ナカジユクテッド)」と呼んでいます。科目内容以外の生徒の成長にかかわる話をするにしています。昨年度までは教室で各自行っていました。今年度より大型のモニターを各教室に購入し、1日3回ある授業の前に当番制で発信することにしました。これによって、他の教室のTEDも聞けたり、必然的に話す内容もレベルアップし、生徒の満足度も上がったと思います。入試説明会や夏のイベントなども教室を超えて誘い掛けたりできるので、とても効果的だと思います。時々外部の方からもお話をいただきます。右の写真はアジアの国々で活躍しているシンガーソングライターの方ですが、このあとミャンマーの学生も自国の様子を話してくれ、生徒は真剣に耳を傾けていました。この教室を超えた取り組みは、コロナがなければ思いつかなかったことだと思います。

話は変わりますが、現在様々な助成金がある中、「育パパ」に関するものはご存じでしょうか？例えば「両立支援等助成金」というものを利用すると、第一子目が生まれて8週以内に連続5日以上休暇を取ると、事業主に72万円が支給されます。さらにその間の社員の給与は実質80%、国が保証してくれます（東京都に住んでいる方、あるいは事業所のある場合は、さらに上乗せで得られます）。5日位何とかかなりそうな方、申請されると良いかもしれません。そして、長期となるとなかなか取ることが難しいと思いますが、今回ナカジユクのスタッフが3か

月の「育パパ休暇」にチャレンジしました。それによるメリットを挙げると以下のようなものがあります。

- ①保護者の方々へ連絡すると、応援してくれる人が多かった（お母さんの塾へ対する印象度も上がったと感じています）。
- ②奥さんの会社に対する理解を得られた。
- ③本人が育児の大変さを理解した。
- ④仕事がしたくてたまらなくなっている（現在ひと月経過）。
- ⑤福利厚生の実績となる

最初は、「男がそんな長期の休みを!？」と聞いていましたが、ちょうど国の政策として、育児休暇を制度化するよう企業などに発信があったこともあり、思い切ってチャレンジしてみました。今のところデメリットはないようです。教室に支障がない範囲で考えてみるのもいいですね。それ以前に所帯を持たないスタッフを何とかしたいとは思いますが…（笑）。



この広報が届くころは、オリンピックは始まっているでしょうか？

賛否両論ありましたが、元気な日本になっていることを祈っております。

エリア通信



エリア関東代表 渡辺 浩
(渡辺塾・東京都)

全国の私塾ネット会員の先生方、お元気でいらっしゃいますか？先生方と直接お会いできなくなり、1年以上が経過しました。Zoom会議では顔を拝見することがあっても、やはり直接お会いする温度とでも言いましょうか、物足りなさを実感しております。

さて、私塾ネット関東では5月13日(木)に令和3年度エリア関東会員総会がオンラインZoom形式で行われました。今年度は役員改選の年度でしたが、私(渡辺塾 渡辺浩)がエリア関東代表を再任させて頂く事になりました。私自身は力不足で、前年度でも先生方のお力を借りながら何とか2年間代表という重職を務めさせて頂きましたが、まだやり残したことも多く、可能であればもう1期務めさせて頂きたいという自分自身の希望もあり、先生方のご理解を頂き再任させて頂きました。とはいえ、コロナ禍は終息の気配すら見えません。おそらくほとんどの方がワクチン接種を終え、そこからさらに数週間、いや数ヶ月はマスク生活が続きそうですね。「やまない雨はない」と言われておりますが、辛抱の後に晴れて先生方とお会いしたく思います。

また、私塾ネット関東では年間行事予定を決めさせて頂きました。今月(6月)はNPO塾全協東日本ブロック様とコラボした「春の合同研修会」を行わせていただきました。研修会の内容は別の記事でご覧いただければと思いますが、私からは今回の研修会に至った経緯につきまして少し述べさせていただきます。ご存じの通り、今春、中学校の教科書が改訂されました。それに伴い、またこのコロナ禍もあり、各教材会社さんが挙って動画コンテンツを作られました。展示会等でご覧になられた先生方も沢山いらっしゃると思いますが、あまりにも数が多すぎ、また以前からあった動画コンテンツと何が違うのか、いまいわからないまま新学期を迎えてしまいました。周りの先生方からも「動画を導入したいんだけど、どこが良いのかよくわからなくて...」といった話も耳にしました。

であれば、私塾ネット関東の研修会で、数社の教材会社さんをお呼びし、各社の動画コンテンツをプレゼンしていただき、さらに、我々学習塾側から、評価アンケートをさせて頂いてはどうかという事で今回の企画に至りました。結果、NPO塾全協の山本先生はじめ、他団体の

先生方にご協力いただき、直接参加とZoom参加の合わせて50名近い先生方にご参加いただきました。本当にありがとうございました。自塾への導入の参考になれば幸いです。

これからも生徒さんのためになる研修会を軸に、楽しんでいただける企画を考え、研修会に繋げていきたいと思っております。今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



エリア中国代表 西本雅明
(パワーゼミ西本・広島県)

会員の皆様、お疲れ様です。あつという間に今年も半年が過ぎてしまいました。「新型コロナ」騒動も足かけ2年になりましたが、

相変わらずマスクを付けなければ外へ出られません。マスク顔しか見たことがない生徒もだいぶ増えてきました。僕がマスクを外したとたんに「キャア～素敵～」となればいいんですが、たぶん「エッ～怖い～」と言って、退塾生が続出する可能性が高いので、怖くてマスクを外せなくなりました。心当たりのある方はくれぐれもお気を付けください。

さて私塾ネット中国の7月定例会のテーマは、「自塾の将来の姿」です。活発な議論になるかどうかは参加者の本気度にかかっています。各塾20分の持ち時間(発表10分+質疑応答10分)で、「自塾を将来どのような塾にしたいのか」・「これからの学習塾は保護者や生徒たちに何を伝えていけば良いのか」など、訳の分からないお題なので、支部会員の本気度とセンスだけが頼りです。この機会に、心の底に眠っている思いを掘り起こし、口に出すことで塾運営の新たなモチベーションになればと考えています。



怖くてマスクが外せない？

私塾ネット 20周年記念 全国研修大会報告



文：私塾ネット副理事 中村直人

2021年4月18日、コロナ禍により1年延期となった、私塾ネット20周年記念式典と第18回全国塾長・職員研修大会が、大井町きゅりあんにて開催された。1年たっても新型コロナウイルスの脅威は収まらず、主に遠方の方はZOOMによる参加で31名、会場参加が36名で、十分なコロナ感染対策の下に行われた。中には、なんとエリア東北から2名会場に駆けつけて下さり、ありがたいことであった。

オープニングには、「私塾ネット20年」の映像が正面のスクリーンに映された。懐かしい方々のお姿。何年も前の皆さん、お若かった。次いで、私塾ネット仲野十和田理事長のご挨拶。参加している方々への謝辞に続き「私塾ネットに入り、地方のがんばっている塾と人との出会いによって、多くのことを学んできました。世の中価値観の多様化が進んできて、これからの教育も一人ひとりの多様性に依拠していくことが必要と思われまます。我々も、知識・技能を伝達するというより、考え方や導き方を伝えていくという立ち位置にあるのではないのでしょうか。その意味で今日の講演には、非常に参考になるのではないかと、楽しみにしています。」

来賓のご挨拶では、私学を代表して駒込学園中学高等学校の河合孝允校長が祝辞を述べ、「AIが台頭し、10年以内には今ある仕事の6割がなくなると言われる中、そのときに子供たちにどのような学力をつけて社会に送り出すのかということが課題になっております。私学と私塾とが手を携え、その対策をしっかりやっていかなければなりません。皆様と一緒に新たな教育に邁進していきたいと思っております。本日はまことにおめでとうございます。」

学習塾団体を代表して、公益社団法人全国学習塾協会の安藤大作会長がオンラインにて祝辞を述べた。「私塾ネット様と全国学習塾協会は、全国規模の10の団体によって構成される全国塾コンソーシアム協議会で共に活動している同志です。その発足から6年が経ち、学習塾の皆様の声を大きく一つにして、各省庁、政治や社会のかたがたに届けられるようになりました。3年前から民間教育推進のための自民党国会議員連盟の発足を通じ共に数々の提言を行ってきました。これからも、学習塾に通う多くの子供たちのためになる活動を共に続けて行きたいと思っております。本日はまことにおめでとうございます。」

会場にいらした、埼玉県私塾協同組合の坂田義勝理事長にお言葉を頂く。初代の山口恭弘先生から代々の理事長谷村志厚、

鈴木正之、湯口兼司、仲野十和田諸先生方の思い出・エピソードを語られ、さらに私塾ネットが発展することを祈念しているとのことのお祝辞を述べられた。その後、WEB上ご参加されている、各団体の代表の方の紹介がなされた。

次いで、功労者表彰式が行われ、感謝状・賞品が贈呈された。以下お名前のみ記す（敬称略）。【エリア北海道・東北】入江昌徳・渡部信雄、【エリア関東】大住明敬、【エリア中部】松本紀行、【エリア中国】佐藤将紀・北川健司、【エリア四国】湯口兼司・寺嶋謙次、【センター】谷村志厚・城忠通・中村直人・光江。

以上20周年記念式典は終了。休憩の後高嶋哲夫先生の講演に入る。

日本のシステムを変える。 もちろん教育も。 講演：AJC副理事長 高嶋哲夫先生



現在全国学習塾協同組合副理事長の高嶋先生は、15年ほどの塾経営の経験をお持ちで、またベストセラー作家として各国で作品が翻訳され、お書きになるジャンルも多岐にわたり、また日でも映像・映画化がなされている。特に、2010年に発表した『首都感染』が、2020年の新型コロナウイルス感染症拡大を予言しているとして話題となった。

【第一部：僕自身のこと 科学者→作家】

香川に生まれ、岡山の玉野で育つ。小学校4年生の時に、先生が図書館を紹介してくれて、それ以来読書に目覚め、親しい友人と競って図書館の本を読み漁る。子供の時に良い先生に巡り会うことは、自分の人生に大きな影響を与えるものである。さらに5年生の頃には自宅の世界文学全集50巻もほとんど読破。しか

し、自分の読書体験はこれで終わった。中学校は、裏が山前が海で、自然の中で楽しく遊んだ。高校は地元の県立玉野高校に進学。成績上位者の選抜コースがあり厳しく受験勉強をさせられる。田舎としては受験の成果をあげていて、社会でも活躍している人材を輩出していた。したがって、競争も必要と言えるだろう。大学は、慶応義塾大学の工学部に進学。アポロが月に行った年だったので、ロケットに近いかと思い「電磁流体力学」を専攻する。大学院在学中、通産省の電子技術総合研究所にて『地上に太陽を』核融合に会う。

日本原子力研究所就職前1ヶ月間アメリカをグレイハウンドバスで旅して回る。この旅は非常にインパクトがあり、ワクワクする新しい世界を知った。

就職後も絶対にもう一度アメリカに行きたいと思い、いつ辞めようかと思っていたが、良い上司・先輩にも恵まれ、3年間在籍した。その間、核融合装置JT60についての英語の論文がアメリカの学会誌に掲載され、日本原子力学会技術賞を受賞。最高に嬉しくラッキーだった。20代半ば過ぎ、がんばれば何でもできると思っていた原研時代であった。そして、原研を辞めてU.C.L.A.に留学する。

【 第二部：アメリカそして塾経営】

アメリカに行ってみると、授業が分からない。一生懸命勉強したのだが、英語ばかりでなく、自分の科学分野に対する能力の限界を知ることとなった。努力では超えられない壁を感じ、苦しむ中、科学の分野での自分に見切りをつける。小学校からこうなりたいと長年頑張ってきたことに区切りをつけることは、容易ではなかった。幸い周りに作家志望の日本人たちがいて、小説家になることがそれほど遠い道とは感じなかった。

結局、新しい道として作家になろうと思ったのは、客観的に見てアメリカで落ちこぼれたからと言える。また、30歳近くまでやってきた核・原子力関係の勉強は決して無駄ではなく、例えばサントリーミステリー大賞を受賞した「イントゥルーダー」は原子力と地震の関係を書いたもので、ノンフィクションでエネルギーフォーラム賞優秀賞を受賞した「福島第二原発の奇跡」などの作品には今までの知識が生きた。また資料を読む力もついていたと言える。

人間は権利の上で平等ではあるが、能力は平等ではない。また、努力すれば、何でもできるというわけではないのだ。努力では越えられない壁もある。

教育者は、子供の得手不得手(才能)を見つけ出して良いところを伸ばしてあげるとするのが本当の教育だと思うようになった。

しかし、矛盾するようだが、一見無駄な努力も決して無駄ではないことも事実なのだ。

アメリカの日本語補習学校で教えた経験もあり、帰国して生活のため神戸に補習塾を開く。「教育は人を創り、人は国を創り、国は世界を創る。」教育とは、今後ともずっと関わり続けていきたい。

【 第三部：(独断と偏見による) 新しい学校】

藤井聡太・大谷翔平らは、自分の一番好きなことを職業にした、幸せな人たちと私は思う。才能と仕事が結びついている。自分を知り、得意分野を見つけ伸ばすことが大事である。時代は、

ジェネラリストよりスペシャリストである。日本の教育に必要なものは、「基礎学力(読み書きソロバン・英語・パソコン・常識・善悪の区別等)」「能力に合わせた学力…」この30年で世界の状況は大きく変わり、産業界も大きく変化し、このような現実に対応できる人、対応できる国でなければ今後生き残っていくことは難しい。オンライン授業が増えている昨今、塾もそういったシステムに慣れていかなければ、たぶんおいていかれるだろう。

とにかく新たな変化に対応するために、日本のさまざまなシステムを変える必要があると思う。小学校では、上記基本的なことを学び、高校ではもっと一人ひとりに適した専門的なことを学ぶ必要があると思う。塾においては、生徒一人ひとりに合わせた学力の伸長と個々の能力を引き出すことが求められる。また別に塾が場としてのセカンドファミリー的な役割も求められているように思われる。

質疑応答では、時間が足らず、新しい学校について中途半端になってしまったところは本に書きますとのこと。



その後オンラインの参加者も共に、グループで討議し意見をまとめ発表。高嶋先生も参加される。各エリアから、ふりかえりと感謝の言葉が述べられた。

最後に、私塾ネット会長の鈴木正之先生が謝辞を述べた。「何かしたいから合格を目指すはずなのに、合格自体が目的になってしまっているように思います。合格はあくまで手段です。したいことを見つけるには、高嶋先生もおっしゃるようにその子の得意分野や長所を伸ばしてあげるのがいいと思います。コロナ禍の中、会場参加の先生方、オンラインでの参加の先生方、御礼申し上げます。どうもありがとうございました。」



終わって、スクリーンの中の各先生方と会場の皆さん方が、しばらくお互いに大きく手を振ってお別れを惜しんだところが非常に印象的でした。



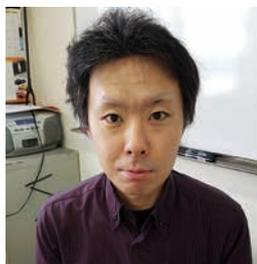


エリア報告 北から南まで

報告

山本 壮太郎 (稲伸ゼミナール・香川県)

コロナ禍による社会生活の激変化が、子どもたちの学びや生き方にどんな影響を与えるか懸念されている。子どもたちの心が内向きになり、直接体験を避ける傾向が指摘されているが、そのようにしているのは、実は私たち大人ではないだろうか。



▶多度津教室小6野外学習レポート

今学習している奈良・平安時代の歴史に関して、今回は「弘法大師空海」をテーマに、空海ゆかりの地普通寺を街歩きすることにした。クラス外からオープン参加として5名(小5、6年4名+保護者1名)の飛び入りがあった。1月前から計画を立て楽しみしていた子どもたちは集合時間の9時10分前には全員集合、定刻にJR普通寺駅を出発、途中、偕行社(旧陸軍将校クラブ)などの歴史的建物を何か所か見ながら総本山普通寺を目指す。事前に、「街歩きの面白さは、当たり前の見慣れた風景からどんな面白さを発見するかだ」ということを話していたので、子どもたちはキョロキョロ、ウロウロ、ワイワイ、



偕行社

1.3kmの道のりを30分以上かけて総本山普通寺に到着した。境内では、1300年前の大楠の圧倒的な姿に興奮したり、本堂・大師堂で暗記していた般若心経をととなえたり、名物「かたパン」を買ったり(昔ながらの「駄菓子屋」の雰囲気が良い)、宿坊では無料の本を何冊も頂いたりなどした。

軍事都市としての普通寺の町割りを確かめながら次の自衛隊駐屯地に向かった。戦車や装甲車、戦闘機などを展示している旧師団司令部跡はコロナ禍で見学者がほとんどなかった。小学生集団の突然の訪問に警備の自衛官は驚きながらも丁寧に対応してくれ、最後は記念写真にも入ってくれた。

次の護国神社は建物と社叢とのバランスが独特の雰囲気を感じさせ、子どもたちも先の普通寺の境内とは違った何かを感じとったようだった。次はキリスト教の四国学院大学を予定していたが、時間が切迫していたので次の機会にすることにした。

最後の目的地普通寺市民会館では地元の古墳から発掘された石棺を見た。これまでに4回訪れた県内の古墳群を思い出してみな熱心に見入っていた。2時間半の駆け足街歩きだったが子どもたちの知的好奇心がドンドン広まり深まっていくのを感じた。

この1年で子どもたちは「オンライン」などのITを活用した新しい学びを得た。それと同時に「リアル」での学びは決して奪われるべきではなく、テレワークにもう慣れてしまった大人たちよりも子どもたちが「リアル」から得るものは非常に大きい、と考える。



普通寺五重塔

報告

柿崎 純 (個別指導Axis観光通り校・青森県)

▶オンライン授業を担当して感じたこと

今年になって、青森市内でも様々な事業所や学校でコロナ陽性に伴うクラスターが発生しています。そのため、一部の学校に在籍している会員生の授業については、オンライン授業で対応。ちょうど1ヶ月が経過し、オンライン授業をしてわたくしなりに感じた点を述べたいと思います。



▶授業後の疲労感、通常の授業よりも相当なものである

当校では、ZOOMを用いて実施しています。オンライン授業ですから、授業時はずっとWebカメラに視線を合わせて授業をしています。生徒の表情を時々見るように心がけてはいますが、ほとんどWebカメラに話しかけている状況です。

わたくし自身、10年以上前にオンラインの専門職大学院で授業を受けていましたので、受講生としての立場で授業を進めています。具体的には、不自然な視線にならないように、あるいは、すぐ前に生徒がいるかのように思いながら説明等をする等を考えているのです。そのため、気疲れからか、授業終了後の疲労感は、半端ないものと言えます。オンライン授業後にはリアルの授業を担当しますが、気持ちの切り替えに苦慮しているところです。

▶一方的に説明するだけだと、生徒は飽きる

オンライン授業を行ってますます痛感しているのが、一方的な説明では生徒が飽きてしまうということです。頭では理解しているのですが、実践となるとそのことを忘れてしまうようです。最初にオンラインで授業をした際、受講している生徒を飽きさせてしまいました。

このことを踏まえ、アプリ操作を徹底マスターしつつ、表情と仕草をちらっと見ながら色々発問をするように心がけることで、なるべく飽きさせないように授業を進めているところです。

▶ツールを利用する際は、慣れたものとする

オンライン授業を行うことになった際、手元にあるも全然使っていないペンタブレット等を取り出して板書練習をしなければならぬと考えました。そこで、ある程度の時間を設けて操作方法の練習をしました。しかしながら、オンライン授業を行う際は、それらのツールを用いていません。ZOOMの共有画面とWindowsに標準搭載されている「ペイント」を使って、キーボードとマウスで板書しています。ペンタブレット等は、操作に慣れていれば大変便利であると認識していますが、なかなか操作に慣れなかったため、使い慣れているものを用いて授業すれば良いと割り切っています。機会があれば、ペンタブレット等を使って授業を試してみたいと思います。

▶終わりに

オンライン授業を行ってみて感じたことを述べましたが、まだまだより良い授業ができると思いながら取り組んでいます。緊急用ではありますが、遠方に住んでいる生徒に対しても十分対応できるのではないかと考えています。引き続き、より良いオンライン授業を目指して取り組んでまいります。

新連載
Vol.1

講師のための英文法

Grammar for English Language Teachers

近藤 誠介 (文化の森スクール・徳島)

この文章が出る頃には、ワクチンの二度接種が終わっていることと思います。という齢になりました。妻との会話で、“こういうわけが不定詞と呼ばれるのだ”と話していると、そういう話を書けばと言われました。自塾の講師のために書いたものですが、ひょんなことから、こういう形で連載させていただくことになりました。とはいえ、大学時代の専攻は会計学で、英語を学問的に研究したことはありません。そういう体ですので、皆様から、色んなご意見をいただければと思っております。

その一、英語は屈折語

言語の類型研究は、19世紀ドイツの(言語)学者、フンボルトにはじまります。人間の言語類型に分類すると、「屈折型」「膠着型」「孤立型」の三つに分けられます。英語は、インドヨーロッパ語族、ゲルマン語派、西ゲルマン語に属し、「屈折語」です。

屈折とは、be動詞がam, are, is, was, wereのように主語の人称や時制によって変化を起こすことです。449年から1100年ころまでを古英語といい、名詞、代名詞、形容詞、動詞、冠詞が複雑な変化をしていました。1100年頃から1500年頃までを中英語といわれ、古英語の複雑な変化が同じ形にまとまってきます。これを「水平化の時代」と呼びます。近代英語と現代英語は「屈折消失の時代」です。

ところで、日本語はウラルアルタイ語族のアルタイ語に属し、「膠着語」です。いわゆる、助詞や助動詞がついて文法範疇(名詞の格や動詞の時制)を表します。ただ、日本語をウラル・アルタイ語の一員と位置づけるための語彙の確実な一致が見つけ出されていないという問題も残っています。

中国語は「孤立語」で、語の文中の位置によって格などが表されます。文法のない言葉ともいわれたりします。

<ひとこと>日本語が論理的でないというのは、19世紀にできなかった比較言語学の、印欧語は完成した言語の理想型とする一方、膠着語は進歩の遅れた、尖った言語であるという考えに由来するものように思われます。論理的ではないのではなく、論理的に、特に政治家は、しゃべらないということでは。

英単語の由来

英語の語彙は、50万語と言われていますが、それは以下の歴史によるものです。

5世紀末、現在のデンマーク、オランダ、ドイツの北部海岸地帯に住んでいたアングル、サクソン、etcと呼ばれるゲルマン小部族が、ブリテン島に侵入してきたときから、英語の歴史が始まります。その時にブリテン島に住んでいたケルト族は、スコットランド、アイルランド、ウェールズへと逃れていきました。ケルト語派も、印欧語族ですが、ゲルマン語派と違ってきます。



1. OE (OldEnglish) :450-1100年

この時期の英語は、ゲルマン語が基になっています。

(例: eat, drink, house, husband, wife)

9世紀から10世紀にかけて侵入してきた、スカンナビア人の古ノルド語に由来する説もあります。

(例: call, law, leg, root, window)

この時期の英語の代表人物: アルフレッド大王

2. ME (MiddleEnglish) :1100-1500年

11世紀のノルマン人の征服から1500年頃まで、ノルマン征服の時代はフランス語が公用語とされたため、多くのフランス語に由来する語があります。

(例: liberty, conflict, marvel, clergy)

この時期を代表する人物は「カンタベリー物語」の作者、チョーサー。(また、いろんな時間にわたって、ラテン語が入っています。)

3. ModE (ModernEnglish) :1500-

古英語と現代英語の対応<be動詞の屈折>

	古英語	現代英語	
不定詞	ベ-オン beon	be	
直説法現在	単数 1人称 エオム eom	am	
		2人称 エアト eart	are
		3人称 イス is	is
	複数 ア a	are	
直接法過去	単数 1人称 ウェアス wæres	was	
		2人称 ウェアレ wære	were
		3人称 ウェアス wæs	was
	複数 ウェアラン wæron	were	
仮定法現在	単数 ベ-オ beo	be	
	複数 ベ-オン beon	be	
仮定法過去	単数 ウェアレ wære	were	
	複数 ウェアレン wæren	were	
命令法	単数 ベ-オ beo	be	
	複数 ベ-オオ beop	be	
現在分詞	ベ-オンデ beonde	being	
過去分詞	イェベ-オン gebeon	been	

15世紀から17世紀のルネサンス、18世紀からの科学技術の革新など、大きな政治的・社会的変化により、大量の語彙が英語に入ってきました。

春の合同研修会

動画コンテンツ くらべてみたらこうなった!

文:長江 広紀 (英数学院・神奈川)



エリア関東とNPO学習塾全国連合協議会東日本ブロックとの共同開催となった、春の合同研修会が令和3年6月20日にお茶の水のワイム貸会議室で行われました(後援:千葉学習塾協同組合・東京私塾協同組合・埼玉県私塾協同組合)。今回のテーマは、「動画コンテンツ くらべてみたらこうなった!」。今年度中学校の教科書が改訂され、それに伴い動画コンテンツを取り込んだ教材が多数刊行されました。しかし、導入に躊躇している学習塾も多いと思います。そこで動画コンテンツをお持ちの教材会社さんにコンテンツの特徴、使用法、導入事例などを紹介していただき、これからの塾運営に生かしていただけたらという思いで企画しました。なお、コロナ禍ということもあり、ZOOMでの参加も受け付け、エリア中国からは西本代表も参加されました。今回は紙面の関係で、学習塾を運営する傍らICTコンテンツを開発し自塾に取り入れている(株)UNIVATION湯浅浩章代表(ユニバースクール神奈川県川崎市)の話を中心にレポートします。



チームUNIVATION

この日のメインともいえる(株)UNIVATIONの湯浅先生に期待したのは、「学習塾にICTを取り入れる難しさ」について話して頂くことでした。現在湯浅先生が運営するユニバースクールは初め電子黒板を取り入れた

そうです(2015年~)。湯浅氏自身、「映像授業は半信半疑だった」そうです。あくまで現場主義だそうです。時代の変化の伴い、2016年から理・社の映像授業、2017年から5科目で映像を取り入れ、iPadで勉強できるようにしたそうです。時代が変化するのに、塾では授業のスタイルが変わらない。未来のために「僕たちが変わらなくてはいけないのではないか」と考えたそうです。自社で「ユニバープラス For School」を開発。eトレ(教育開発出版)やStudy Plusも取り入れました。

ICT教材を取り入れることによって、生徒の成績は上がるのか?

湯浅氏は「先生次第で変わる」と仰いました。ICT教材で集客につながるのか? これも先生次第だそうです。しかし、ICTと取り入れることによって、塾力がアップし、よりユニバースクールらしくなったと言います。英・数・国・理・社以外にキャリア教育を取り入れたそうです。湯浅氏の信念は「コミュニケーションこそ、塾の価値がある」。「ユニバープラス For School」もコミュニケーションが生まれる発露にしたいそうです。学校でも家庭でもない、学習塾を新たな「居場所」へ。「安定=衰退だなと考えている」という湯浅氏。その後、カスタマーサービス桑野圭介氏より、「ユニバースクール For School」の紹介がありました(イントロ(授業を見る)→シャッフル(問題演習)→確認テスト→採点という流れ

だそうで、コミュニケーションを取りながら進めることができるそうです)。

柳田浩靖先生の紹介で知り合い、「これは私塾ネットに入会を勧めねば(笑)」と思った私は、ZOOMで知り合った2日後にユニバースクールへ入会案内を持ってアポ無しで伺いました(笑)。というのも、私の塾からユニバースクールは20分の距離(3駅)。「近いから是非遊びに来て下さい」という社交辞令かも知れない言葉を真っ正直に受け取った私は、授業の見学もできればという下心で宮崎台まで行きました。ご多忙の湯浅氏は留守で入会案内書と書き置きだけで帰りましたが、20日の研修会后「入会申込書を後日FAXで送りますから」と。社交辞令でなければ良いのですが(笑)。授業で読書の時間を設けていたり、YouTubeを用いて集客につなげていたり刺激になる取り組みを行っているの、是非ホームページを見てみてください。

次に登壇したのは好学出版…のはずでしたが、パソコンのトラブルで中断。この日我々運営側を数々の機材トラブルが襲いました。会場でプロジェクターに画像を映しながらZOOMでWEB上に流す。4月の全国研修会の成功は奇跡だったのだなと改めて思いました。会場では謎のハウリングが起こりますし…。順番を後にして欲しいということで育伸社になりました。課長代理・東京営業所長の吉田康孝氏により「育伸社の動画配信の取り組みについて」のプレゼンが行われました。コロナで対面授業ができるか分からないという状況の中で「動画を用意してもらえないか」という声があり、「ワーク動画サービス」を今年から用意したそうです。



チーム育伸社



チーム好学出版

無事PCが復活して、好学出版営業部課長・國分雅道氏より「映像コンテンツ、効果的な活用方法のご提案」と題して講演。使う先生の力量次第、うまくいっている塾とそうでない塾に分かれる、映像授業では生徒が集中できない…という声も真実だと思う、とのこと。これからは、先生は「教える」という役割より「モチベーションを上げる」存在になっていくのではという言葉が印象的でした。

エデュケーショナルネットワーク千葉営業所所長相川大樹氏からは「オプティマススタディのご案内」が。問題数13万5千題で、進捗状況を管理できるそうです。いずれにしても生徒だけに



チームエデュケーショナルネットワーク

任せるのは難しいとのこと。先生による進捗管理が不可欠のことです。この頃から、司会を担当していた私は時間が気になり始めました。会場をお借りしている時間が確実に過ぎそうな予感がしてきました。相川氏の話しぶりは、この日随一だったと評判でした。



日本教材出版 東京営業所 所長 吉田勇二氏からは「通常授業に取り込める Active Study 映像授業のご紹介」。私の塾も、「Active Study」を使用しています。時間が押していたので、説明の多くを

カットして頂きましたが、日米文化学院の授業風景が紹介されました。教材を導入すれば、映像授業は費用がかからないというのが良いです。4技能対策に皆さんの塾でもいかがですか。

おおとりは教育開発出版 東京第二課 課長代理 五月女大樹氏。「動画コンテンツ・ICT教材の紹介と活用法のご提案」。しかし、悲劇が…。ここまで多くの機材トラブルなどで、時間超過して短時間



の説明を強いられる状況で、PCの画像が会場のプロジェクターに映らないというアクシデント。対応に追われましたが、結局会場には映らず（ZOOMでは映っていました）、仕方なくZOOM参加者に向けて講演して頂きました。会場参加者の皆さん、申し訳ございませんでした。教育開発さん、申し訳ございません。しかも教育開発出版は私塾ネットの賛助会員！今度、必ずお時間を取らせてください！eトレがStudy Plusと連携したそうです。スタプラ、私も気になっています。皆さん、生徒の自律を促す教育開発出版の教材をよろしく願います！



最後に私塾ネットの賛助会員であります、(株)サンケイワークの橋本光幸さまがはるばる大阪からいらして、自社製品の「クリスタルイオン」の紹介をなされました。これは、水で空気を洗うという新発想の水をフィルターと

する空気清浄機で、水微細ミストを室内に放出し、空気中の花粉・菌・ウイルス・PM2.5・ホコリ・カビ孢子・ホルムアルデヒド・NOxなどを吸着し、本体に回収または落下させ、同時に脱臭・保湿もフィルター交換なしで実現する画期的なものです。歯科医院や学習塾の教室などでの使用実績があるようです。ご興味のある方は、「サンケイワーク クリスタルイオン」で検索してみてください。私塾ネット会員価格もあるということです。

次回はコロナを気にせず対面のみで研修を行いたいですね。

学習塾よろず相談事例集

私塾ネットセンター 広報部

Q: 今年から中学の教科書が改訂になり、特に英語が大変なことになっています。皆さんの塾では、英語の教材は何を使っているか、どのような指導法になるか、時間数を増やすなどの対策を行うつもりなのか、情報交換させて頂ければ幸いです。

A1: 日本教材出版の「Active Study」が紹介された。日米の柳田さんが例として挙げられているほど、超有名。使っている塾は一斉授業使用で、個別で使えるのかという話も出ているが、今のところ情報なし。

A2: 一斉指導で、フォレスト使用、フォレストクリアテストを生徒に自主的に多数回繰り返させて内容定着させているところも。

A3: 教科書指導をしないと成績が上がらないのでは、に関しては、教科書準拠として、新ワーク(好学出版)と解説動画教材(独自開発もしている)。物足りない人は、ウイニング。その長文問題で長文対策をしている。学校の定期テストで点数を取らせることに主眼を置くには、教科書の音読の徹底をしている。

A4: 小学生高学年の生徒が、毎週少しずつ、読みを繰り返すことで自然に読むことが出来るようになり、意味もつかんでしまう。文法は、小学生に必要な。音読徹底で小6の半数が英検3級とか。これには、かなりなノウハウがあるのですね。一朝一夕にはできない。

A5: 音読の重要性は共通認識。國弘正雄氏の「只管朗読」に尽きるという意見も。「國弘流英語の話しかた」。自分の勉強に適するか。

Q: 皆さまの教場では、どのようにお月謝を集めておられますか。月謝袋、銀行振り込み等ありますが、こうした良かったという体験をご披露ください。また、それに伴うトラブル例えば滞納など困っていること、またその対策で改善した経験なども教えていただければ、皆様の役に立つと思われま。お知恵を拝借して、安価で安全な方法を提示できればお役にたつと思います。是非、積極的に書き込んでいただければ幸甚です。

A1: おおまかに、小規模の塾では金融機関の振込・引落あるいは月謝袋、また顧客側にそれらの選択していただいているところが多いようです。教場を多く持たれているところは、多くの金融機関から引き落とし作業を代行業者に頼んでいるようです。ほとんどの学習塾は、滞納や多額の踏み倒しを経験されていて、その苦い体験から色々とお月謝を集めるやり方も変化させているようです。

A2: 振込・引落に使う金融機関では、ゆうちょ銀行が多いです。

A3: ゆうちょにお手数でも振り込んでいただくようにして、入塾時の契約書に学費滞納の場合の出席停止などを文言として入れてからは、滞納がなくなったというところもあります。

A4: 地域の学校の自動引落としにゆうちょを使っているの、ゆうちょの引き落としを使用している。地域によって違いがあると思われま。

A5: ゆうちょの自動引き落としに、「ゆうちょBizダイレクト」等ネットから利用すると、データ提出も簡単で、手数料を受取人負担としても55円以下で済むようです。詳しくは、「ゆうちょ自動払い込み」等でご検索ください。

(注: 集まった情報が少なく、この件は継続して内容を深めたいと思います。ついでに、投稿しやすいように、個人情報が見えない目安箱のようなものを設置しようかと考えております)

私塾ねつと誌上句会「春夏秋冬」

再開第一回
(谷村選&評)

あじさいがかまわず茂る裏戸口
この夏はモデルナで行く覚悟かな

中村直人(神奈川県)

梅雨の時期のあじさいは手を入れないと傍若無人に繁茂する。わが家にも玄関先に一株植わっているのだが、これが通路を塞いでやっかいなことになっている。「紫陽花に小径とられて廻り道」加賀千代女の朝顔の句をバロツて一ひねり。

友からの包みサクランボウのあふれおり
二つ三つ口からこぼれ枇杷の種

十亀幸雄(愛媛県)

サクランボウ、枇杷ともに夏の果実の代表格だが、昨今はともに高級品となりもっぱら贈答品として人気が高い。さくらんぼは山形の佐藤錦、枇杷は千葉の房州ビワが有名。知人に房州富浦の枇杷農家がいるが、一昨年の台風では甚大な被害を受けた。

兄弟のコウノトリ舞う紅蓮田
次々と鳴き連なるや雨蛙

木内恭裕(徳島県)

紅蓮田は蓮の花の咲く田んぼのことで夏の季語。鳴門市に数年前からコウノトリが住み着いて、毎年ヒナが育ちこの時期に巣立ちし、近くの蓮田や水田で餌をとっています。まだ私は直接見てはいませんが、テレビでよく見かけます。(木内)

香水のかほり残して君は去る
この雨は梅雨につらなる先駆けか

長江勝秋(神奈川県)

昨年大ヒットしたのが瑛太の歌う「香水」。ドルチェ&ガッバーナというブランドの歌詞が話題になった。我々の世代で香水といえばマリリン・モンローの「シャネルの5番」とどめを刺す。長江さんのお相手もこれをつけておいででしたか?

梅雨寒や呑み屋(みせ)の親父の仏頂面
止り木にコロナの愚痴や冷酒酌む

谷村志厚(千葉県)

居酒屋俳句2句。マン防の禁酒措置が緩んで、ほぼ2か月ぶりに馴染みの店の客となった。久しぶりに顔を合わせた常連は、ワクチン接種の話で持ち切り。休業を余儀なくされていた店の親父の愚痴を肴にしばしの痛飲、談笑。

編集部からお願い

次号は11月上旬発行の晩秋号です。投句はお一人3句まで秋、冬の季語でお願いします。投稿は、谷村までメールまたはFAXです。締切は10月末日です、ふるってご投稿ください。

●メール: t-shiko.1949@aim-net.co.jp ●FAX: 047(368)2189

私の携わっている学習塾関係団体について

鈴木 正之(私塾ネット会長)

▶ 大井町から教育を考える会(OKK) [専務理事]

春期定例会を6/3(木)品川区大井町きゅりあんにて開催されました。会場参加とオンライン参加を合わせて31団体(学習塾・私学・企業・個人)中、28団体が参加して、活動報告と活動案、本年度の役員を決定しました。理事長は木谷先生(木谷塾:私塾ネット関東会計部長)、副理事長は辰巳順子先生(個人会員)、鈴木清彦先生(品川海風塾)、相談会実行委員長に阿部光雄先生(トキワ松学園中高)となりました。今年度の活動はこれからですが、11/3に私立中高相談会を開催することに決定しました。

大井町から教育を考える会は、品川区大井町にある近所の学習塾が塾生を奪い合うのではなく、一緒に地域の教育を高めていこうと発足した団体です。現在6塾が参加していますが、それに賛同していただいた私立中高26法人(28校)、企業3社、個人会員2名が加わり活動しています。最大のイベントは11/3の品川区や商店街の後援をいただき開催している「教育後援会&私立中高相談会」です。教育講演会は当時の京北中高の川合正先生から始まり、現在は(株)声の教育社の三谷潤一氏にお願いしています。中高入試の動向とその対策について、三谷氏の話術で参加者のみならず私学の先生も引き込まれています。相談会は「うちの学校を是非受験してね」ではなく、「うちの学校もいけれど、あそこの学校も合いそうだよ」と、その子にとっての一番校を見つける相談会です。その他、「OKK通信」の発行、「OKKハンドブック」の発行、及び情報交換会の実施をしています。さらに昨年度から「OKKチャンネル」としてYouTubeで情報発信も開始しました。

OKKが地元を良くすること、子供たちのために活動していくことのモデルケースになり、それが日本全体に広がっていくことで日本が良くなることを期待して我々は活動しています。

▶ 学習塾団体合同会議 [代表幹事]

関東に本部がある学習塾団体(公益社団法人全国学習塾協会、全国学習塾協同組合、NPO学習塾全国連合協議会、私塾協同組合連合会(※注)、千葉学習塾協同組合、全日本私塾教育ネットワーク)が構成する会議です。「弱い立場である子供達や塾の先生の気持ちを推し量り、業界の健全な発展及び子供たちの未来のために我々ができる事を実行していくものとする」ことを目的として、情報の共有、意見交換と発信、研修会の開催を主な活動としています。

研修会の開催につきましては、各団体が協力し合い開催する事を推進しており、単独開催イベントも学習塾団体合同会議ホームページ(9月運用開始予定)に掲載し、他団体の会員の先生方にも参加していただけるようになりました。現在コロナ禍の中で開催ができておりませんが、今後、各団体主催又は共同開催イベントに、皆さんの参加したいイベントを選んで、参加していただければと考えています。

幹事は、安藤大作先生、稲葉秀雄先生、森貞孝先生、玉城邦夫先生、内藤潤司先生、中山和行先生、坂田義勝先生(副代表幹事)、新井恵詞先生、亀山直人先生、宮澤歩先生(副代表幹事)、柳田浩靖先生と私です。

※注:私塾協同組合連合会=東京私塾協同組合、埼玉県私塾協同組合、茨城県学習塾協同組合、神奈川県私塾協同組合



大井町から教育を考える会
Ohimachi Educational Research Lab. since 2002

学習塾に通う子どもたちの未来、業界の健全な発展のために
学習塾団体合同会議

私塾ネットセンター 事務局通信

事務局長 長江 広紀 (英数学院・神奈川)



会員・名誉会員の皆様、賛助会員の皆様、他団体の皆様、お世話様です！
会費徴収の任にあたる会計部の皆様、執筆にあたる広報部をはじめとする皆様、研修部の皆様、ご苦勞様です！
広報発送作業に従事される先生方いつもありがとうございます！

令和3年5月13日、Zoomにて代表者会議が行われましたのでご報告させていただきます。執行役員16名中参加12名、委任状2名、計14名出席により過半数を超え定数を満たしました。理事長挨拶の後、私より令和2年度事業報告並びに令和3年度事業予定（第1号議案）、令和3年度事業計画（第2号議案）を報告致しました。また仲野理事長より役員異動の説明があり、ネット管理部長に田中宏道氏、事務局長に私（長江）を選任したことを報告されました。続いて鈴木学会計部長より令和2年度決算報告（第3号議案）、令和3年度予算案（第4号議案）が報告されました。いずれも全会一致で承認されました。

事業計画で私から提案させて頂いたことを抜粋いたします。

一、メーリングリストの構築と活用。各エリアのご協力でアドレス取得を引き続き行うとともに、うまく活用している他団体を参考に活発に情報交換をしていければと思います。二、全国研修会の財政の健全化。全国から同志が募れる魅力ある内容にしていくと同時に、講演者の選定や参加費も含めた改訂を考えてまいりたいと思います。三、エリア間交流の活発化。オンラインでの研修が増えました。エリアの垣根を超えた交流を促進すべく、センターが人と人をつなぐ「ハブ」の役割を担ってまいりたいと存じます。また定期的にセンターの役員会を開催できればと思います。

最後に、書籍のご紹介です。「勉強する気はなぜ起らないのか」(外山美樹著 ちくまプリマー新書)。同じ学力のAさんとBさん。Aさんはレベルの高い学校に入学し、Bさんは偏差値がそれほど高くない学校に入学しました。その後二人の成績はどのように変化するのでしょうか。本人次第なのですが(笑)、教育心理学を専門とする著者によって環境がどう影響を及ぼすかを興味深くアプローチします。読みやすく、生徒や保護者にもお勧めです。

編集後記

広報部長：中村 直人

新年度に入り、仲野理事長よりセンター広報部に指名されました中村です。谷村元編集長と鈴木学さんにいろいろ教えていただき、また皆様の投稿ご協力により、なんとかかんとかが発行にこぎつけほっとしております。今回からの新機軸は、近藤誠介先生の「講師のための英文法講座」と「学習塾よろず相談事例集」です、前者は歴史から英文法の本質にせまる、

めったにお目にかかれぬ深い内容です。単なる教科書解説・受験技術などの知識にとどまらず、このような教養も教えるものにとっては大切なことだと思います。連載を楽しみに。後者は皆さんの積極的なご参加で盛り上げていただければ、必ず役に立つものと考えております。いろいろな問題点を掘り起こしていきたいです。1回で完結というわけでないので、継続して同じ内容の投稿も受け付けます。また皆様の投稿しやすい環境も整えていきたいと思っております。どうぞ、今後ともご協力等よろしくお願いたします。

表紙の花こ・と・ば

フラワーアレンジメントを趣味とする妻に、この写真を見せ花の名を尋ねてみた。「ペチュニアね」と即答。「残念！サフィニアだ」と伝えると。「バカね、サフィニアはペチュニアの改良品種よ」と指摘された。調べてみるとこうだ。ペチュニアは日本に渡来して「衝羽根(つくばね)朝顔」と呼ばれた。雨と寒さが苦手な日本では今一つ定着しなかった。そこで園芸品種として改良がくわえられ、1989年商品化された。1989年生まれならアラサー娘、当方の末娘よりずっと若い。なるほど、農家育ちのそれも生花などと縁のない、高齢爺さんには無縁なわけだ。ところでこの花を改良したのは、なんとあのサントリーだそう。ウイスキーとなら深い縁をむすんできたのだが、サントリーは花までやってるとは知らなかった。サフィニアの名の由来は、波打つようにうねりたくさんの花を咲かせることから、サーフィン+ペチュニアということらしい。ちなみに花言葉は「咲きたての笑顔」。

(志厚)



サフィニア

(ナス科ソクバネアサガオ属・ブラジル原産)

賛助会員一覧 (順不同)

関東国際高等学校 東京都渋谷区本町3-2-2	村山 サンドラー 先生 TEL: 03-3376-2244	二松学舎大学付属高等学校 東京都千代田区九段南2-1-32	車田 忠継 先生 TEL: 03-3261-9288
東洋高等学校 東京都千代田区三崎町1-4-16	石井 和彦 先生 TEL: 03-3291-3824	広尾学園小石川中学高等学校 東京都文京区本駒込2-29-1	遠藤 賢 先生 TEL: 03-5940-4455
桜丘中学・高等学校 東京都北区滝野川1-51-12	高橋 知仁 先生 TEL: 03-3910-6161	自由学園 中等科・高等科 東京都東久留米市学園町1-8-15	更科 幸一 先生 TEL: 042-422-3111
光英VERITAS中学高等学校 千葉県松戸市秋山600	川並 芳純 先生 TEL: 047-392-8111	京華学園 東京都文京区白山5-6-6	今野 巖 先生 TEL: 03-3941-6493
麹町学園女子中高等学校 東京都千代田区麹町3-8	上田 翼 先生 TEL: 03-3263-3011	武蔵野大学千代田高等学院 東京都千代田区四番町11	岡田 孝子 先生 TEL: 03-3263-6551
春日部共栄中学高等学校 埼玉県春日部市上大増新田213	馬崎 郁朗 先生 TEL: 048-737-7611	目黒日大中学高等学校 東京都目黒区目黒1-6-15	天野 正貴 先生 TEL: 03-3492-3388
東京立正中学高等学校 東京都杉並区堀ノ内2-41-15	小泉 岳司 先生 TEL: 03-3312-1111	共栄学園中学高等学校 東京都葛飾区お花茶屋2-6-1	松宮 博 先生 TEL: 03-3601-7136
八雲学園中学高等学校 東京都目黒区八雲2-14-1	横山 孝治 先生 TEL: 03-3717-1196	中村中学・高等学校 東京都江東区清澄2-3-15	富田 義道 先生 TEL: 03-3642-8041
武蔵野中学高等学校 東京都北区西ヶ原4-56-20	浅見 尚次郎 先生 TEL: 03-3910-0151	文教大学附属中学高等学校 東京都品川区旗の台3-2-17	神戸 航 先生 TEL: 03-3783-5511
東洋大学京北中学高等学校 東京都文京区白山2-36-5	井出 秀己 先生 TEL: 03-3816-6211	金沢工業大学国際高等専門学校 石川県金沢市久安2-270	志鷹 英男 先生 TEL: 076-248-1080
大森学園高等学校 東京都大田区大森西3-2-12	三浦 圭 先生 TEL: 03-3762-7336	(株)私塾界 東京都豊島区東池袋1-39-1三善ビル3F	山田 未知之 様 TEL: 03-3987-0838
東京成徳大学中学高等学校 東京都北区豊島8-26-9	大矢 忠和 先生 TEL: 03-3911-7109	デザインオフィスズキ 千葉県柏市柏687-6	鈴木 学 様 TEL: 04-7164-8276
日本工業大学駒場中学高等学校 東京都目黒区駒場1-35-32	河村 文夫 先生 TEL: 03-3467-2130	(株)POPER 東京都中央区日本橋茅場町1-13-21-4F	栗原 慎吾 様 TEL: 03-6265-0951
青稜中学高等学校 東京都品川区二葉1-6-6	伊東 充 先生 TEL: 03-3782-1502	(株)塾と教育社 東京都千代田区飯田橋4-4-8-310	加藤 麻由美 様 TEL: 03-6265-6855
東京女子学園中学高等学校 東京都港区芝4-1-30	鶴内 小百合 先生 TEL: 03-3451-0912	(株)ブックモールジャパン 埼玉県戸田市上戸田4-2-33 日教販戸田センター	攪上 聡 様 TEL: 048-447-7457
駒込中学高等学校 東京都文京区千駄木5-6-25	河合 孝允 先生 TEL: 03-3828-4141	教育開発出版(株) 東京都杉並区下高井戸1-39-12	糸井 幸男 様 TEL: 03-3304-5291
愛国中学高等学校 東京都江戸川区西小岩5-7-1	高橋 英夫 先生 TEL: 03-3658-4111	(株)クロノクリエイト 東京都渋谷区神宮前5-52-2-2F	添田 大亮 様 TEL: 03-5468-6986
安田学園中・高等学校 東京都墨田区横網2-2-25	藤村 高史 先生 TEL: 03-3624-2666	(株)声の教育社 東京都新宿区新小川町8-15	中村 千尋 様 TEL: 03-5261-5061
日本音楽高等学校 東京都品川区豊町2-16-12	伊庭 崇 先生 TEL: 03-3786-1711	アロー教育総合研究所 東京都千代田区神田小川町3-8-5F	古川 貴央 様 TEL: 03-3259-2851
立正大学付属立正中学高等学校 東京都大田区西馬込1-5-1	今田 正利 先生 TEL: 03-6303-7683	(株)サンケイワーク 大阪府大阪市福島区玉川2-8-4-3F	橋本 光幸 様 TEL: 06-6445-0688
上野学園中学校・高等学校 東京都台東区東上野4-24-12	川村 翼 先生 TEL: 03-3847-2201	(株)インフィニティライフ 東京都新宿区四谷4-3 エクシーナ四谷1001	高木 直人 様 TEL: 03-6380-5894